

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

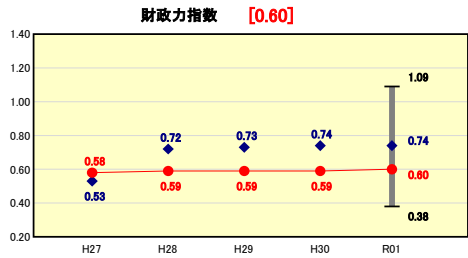
令和元年度 京都府亀岡市

人口	88,462人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	87,366人(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	224.80km ²	実質公債費比率	13.8%
歳入総額	36,831,701千円	将来負担比率	100.3%
歳出総額	36,075,363千円	市町村類型	H27 II-1 H28 II-3 H29 II-3
実質収支	665,461千円	(年度毎)	H30 II-3 R01 II-3
標準財政規模	18,683,963千円		
地方債現在高	42,121,332千円		

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力



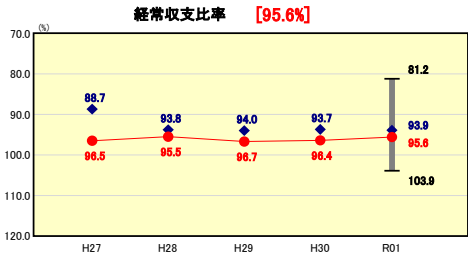
類似団体内順位 67/88 全国平均 0.51 京都府平均 0.55

財政力指数の分析欄

本市の財政力指数は、0.60と全国平均の0.51及び京都府平均の0.55をやや上回っているところであるが、類似団体平均の0.74からは下回っている。平成26年度以降は、同水準を維持してきており、令和元年度については、前年度より若干改善している。

今後も、収納率向上対策等の取り組みにより、歳入の確保を図るとともに、人件費や物件費など歳出の更なる見直しを実施することで、財政基盤の強化に努める。

財政構造の弾力性



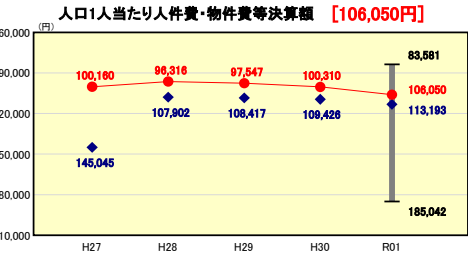
類似団体内順位 53/88 全国平均 93.6 京都府平均 97.4

経常収支比率の分析欄

将来的な財政見通しに基づき、人件費や繰出金など経常経費の徹底した削減を図ってきたところであるが、補助費の増加等の要因により、類似団体平均及び全国平均を下回っている。

前年度と比較すると0.8ポイント改善しており、今後も継続して経常経費の削減を図るとともに、事業見直しを行うことで健全な財政運営を進め、財政構造の弾力性の確保に努める。

人件費・物件費等の状況



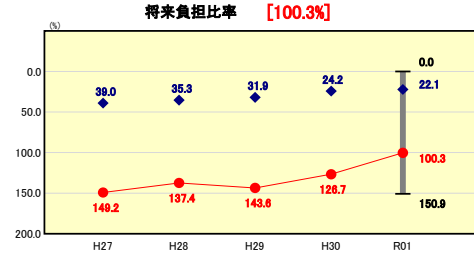
類似団体内順位 43/88 全国平均 135,880 京都府平均 143,808

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

類似団体平均、全国平均、京都府平均のいずれと比較しても下回っている。前年度と比較して増加している要因は、ふるさと納税が増加したことにより、それに係る関連経費（物件費）が増加したためである。

今後、各公共施設の経年劣化に伴う修繕料等の増加が予想される中、個別施設計画の策定を推進し、各施設の状況を踏まえた上で、経費の削減を図る。

将来負担の状況



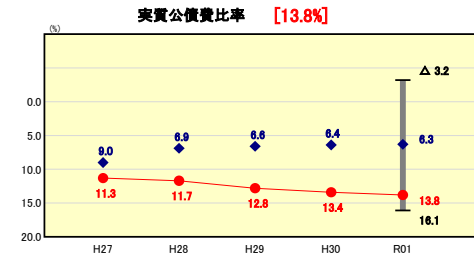
類似団体内順位 79/86 全国平均 27.4 京都府平均 132.8

将来負担比率の分析欄

類似団体平均、全国平均と比較しても上回っている。前年度と比較して改善した主な要因は、下水道事業における償還元金の減少や、病院事業における経常利益が増加したことなどによるものである。

今後についても、新たな市債発行額が償還額を上回らないよう抑制に努め、類似団体平均及び全国平均との差を縮められるよう、より一層、財政健全化に努める。

公債費負担の状況



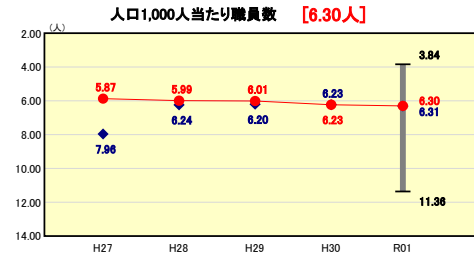
類似団体内順位 82/88 全国平均 5.8 京都府平均 9.4

実質公債費比率の分析欄

類似団体平均、全国平均、京都府平均のいずれと比較しても上回っている。近年の借入分で元金償還が開始された市債の影響等で、実質公債費比率が増加傾向にある。

3か年平均では、0.6ポイントの悪化、単年度比較では0.4ポイント悪化していることから、今後の実質公債費比率の改善を図るため、新たな市債発行額が償還額を上回らないよう抑制に努める。

定員管理の状況



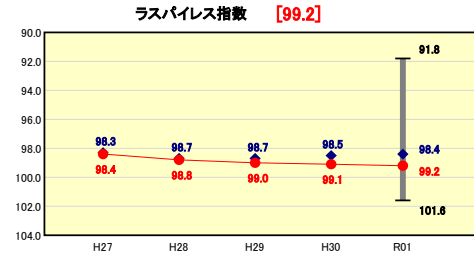
類似団体内順位 48/86 全国平均 8.03 京都府平均 10.02

人口1,000人当たり職員数の分析欄

全国平均、京都府平均のいずれと比較しても下回っている。これは、毎年、事務事業の見直し等を行うとともに、亀岡市行政改革大綱に基づく、職員の定員管理の適切な推進と、スリムで強靱な組織・人員体制の構築を図ってきた成果である。

今後も、事業・組織の見直し等により、更なる職員数の適正化に取り組む。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 51/86 全国市平均 98.9 全国町村平均 98.4

ラスパイレス指数の分析欄

本市のラスパイレス指数99.2は、類似団体平均98.4を上回っているが、全国市平均98.9と比較すると概ね同水準にあるといえる。今後も、より一層、給与の適正化に努める。